



人はどうして服を着るの

人間が服を着る理由はいろいろ

体をおおい、着るものを衣服といいます。そして、人間がこの衣服を身につけるようになったのは、約8万年前といわれています。人間が、なぜ衣服を着るようになったかについては、

- ・寒さ・傷・害虫などから身を守るため
- ・衣服によって、性別・地位・部族などのちがいを表すため
- ・立場や場所がらを考えてひかえめにしたり、自立したいという感情を衣服によってあらわしたりするため
- ・自分を美しくかざろうとするため
- ・宗教にたずさわる人が、自分の身分を示すため

などということが、考えられています。

ですから、人が服を着るようになったのは、人によって理由はさまざまということができ、上の例であげたようなことが、混ざり合っていると考えられるのです。

国や地方によって、ちがう衣服ができたのは

人間の服を着る理由が、いろいろなのと同じように、地球上のいろいろな場所に別れて住んでいた人間は、それぞれ、住んでいる土地の地形や気候、くらし方に合わせた衣服を着るようになりました。たとえば、寒冷地に住むエスキモーは、皮または毛皮の衣服で身を守ったように、住んでいる国や地方によって、ちがう衣服ができたのです。

(監修・保志 宏)

